

第2次長崎県食品の安全・安心推進計画（素案）に対する パブリックコメントの募集結果について

「第2次長崎県食品の安全・安心推進計画（素案）」に対するパブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。
お寄せいただいたご意見に対する考え方をまとめましたので公表いたします。

1. 募集期間

- ・令和2年12月14日（月）～令和3年1月13日（水）

2. 募集方法

- ・電子申請　・郵送　・ファクシミリ

3. 閲覧方法

- ・県ホームページに掲載
- ・食品安全・消費生活課、県政情報コーナー（県庁県民センター内）
- ・各振興局行政資料コーナー（長崎振興局を除く）
- ・各県立保健所

4. 意見件数

- ・5件（4個人）

5. 意見の反映状況

対応区分	対応内容	件数
A	・素案に修正を加え、反映させたもの	—
B	・素案にすでに盛り込まれているもの ・素案の考え方や姿勢に合致し、今後具体的な施策を進める 中で、反映していくもの	3
C	・今後、検討していくもの	—
D	・反映が困難なもの	—
E	・その他（ご提案・ご意見として承るもの）	2
	合 計	5

6. 提出された意見要旨及び県の考え方

B 素案にすでに盛り込まれているもの

素案の考え方や姿勢に合致し、今後具体的な施策を遂行する中で、反映していくもの

No.	意見の要旨	県の考え方
1	<p>【該当箇所：10 頁 26 行目】</p> <p>学校給食施設における安全・安心確保 食物アレルギーは命に係わることであり、学校で体制の強化を図る意識向上の取組を行うことに賛成する。 ぜひ取り組んでいただきたい。 また、学校以外でも、食べ物にかかわる方には知っていただけると、よりよいと思う。</p>	<p>賛同いただいた素案を生かし、学校給食施設における安全・安心確保に努めてまいります。 また、今後はリスクコミュニケーションの中で取り上げるなど学校関係者以外にも周知を図ってまいります。</p>
2	<p>【該当箇所：24、25 頁】</p> <p>食品の安全、危機管理について 消費者は食品の購入のほとんどを近所の大手スーパーやコンビニを利用している。 大手スーパーやコンビニと連携して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全の推進 ・食品の危機管理の推進を図れば <p>効率的に目的が達成できると思われる。</p>	<p>大手スーパーマーケットやコンビニエンスストアとの連携については、リスクコミュニケーションの開催や県との包括連携協定による広報スペースの提供等でご協力をいただいているところです。 今後とも、食品の安全・安心施策について、大手スーパーマーケットやコンビニエンスストア等と連携し、推進してまいります。</p>
3	<p>【該当箇所：26 頁 10 行目】</p> <p>化学肥料・化学合成農薬を低減した栽培の推進 化学合成農薬の使用低減などの環境負荷の少ない生産環境を形成することに賛成する。 環境に優しい食材は、結果的に人にも優しい食材となり、安心して食べることができる。 今は食材が作れていても、今後環境が破壊されて作れなくなるとは、結局は食料がなくなり、人が困ることになる。 ぜひ取り組んでいただきたい。</p>	<p>賛同いただいた素案を生かし、環境に配慮した生産活動を推進してまいります。</p>

E その他（ご提案・ご意見として承るもの）

No.	意見の要旨	県の考え方
4	<p>【該当箇所：22 頁 19 行目】</p> <p>学校給食について 給食に農薬を使わない地元野菜の導入をしてほしい。 例えば、佐賀の地元産の小麦粉を使った給食パンのように、なるべく地元の材料を検討して欲しい。 また、残留農薬の問題があるため、輸入小麦のパンよりも国産のお米を使ったご飯の提供を増やして欲しい。 有機農家への支援は、より付加価値のある野菜の生産に繋がり、長崎の農業の発展にもなると考える。</p>	<p>米飯の提供回数については、以前よりも増加傾向にあります。 今後も学校給食については、地産地消に取り組んでまいります。</p>
5	<p>【該当箇所：26 頁 2 行目】</p> <p>環境の保全への配慮 食品容器包装の環境配慮設計の推進を盛り込んで欲しい。3R、環境配慮型の食品容器包装素材の活用に取り組む企業を支援する等。</p>	<p>食品容器包装の環境配慮については、食品の安全・安心と直接結びつくものではないため、食品の安全・安心推進計画に反映させるのは困難です。 環境保護の観点からは、貴重なご意見ですので、関係課へご意見の趣旨をお伝えします。</p>